

TOKUSHIMA INNOVATION HUB

未利用資源の活用による菌床きのこ生産体制の構築

リーダー：徳島大学

チームメンバー：株式会社カクタニ、有限会社多家良培菌、NPO法人竹林再生会議
神山椎茸生産販売共同組合、株式会社北研、
徳島県立農林水産総合技術支援センター

背景

- ・徳島県は生シイタケ生産量全国1位
- ・きのこ菌床用広葉樹おが粉の不足、資材費の高騰が経営を圧迫
- ・SDGsに則った省エネルギーかつ費用削減したきのこ生産には、大量に生じる廃菌床の処理や、豊富に存在する未利用竹資源の活用が必須

目的



活動内容

竹を利用したシイタケ栽培

取組内容①



- ✓ 広葉樹オガ粉の10%を竹に代替し生産現場で実証試験を実施

取組内容②



- ✓ 竹オガ粉の安定的な供給体制の検討
- ✓ 竹オガ粉の供給価格の検討

廃菌床を利用したシイタケ栽培

取組内容①



- ✓ 1次発生でシイタケが多発し、2次、3次発生が少ない、労働力の平準化に課題
- ✓ 課題解決のため、栽培管理を検討

取組内容②



- ✓ 廃菌床の成分分析
- ✓ 廃菌床の利用回数がシイタケの発生に及ぼす影響の解明